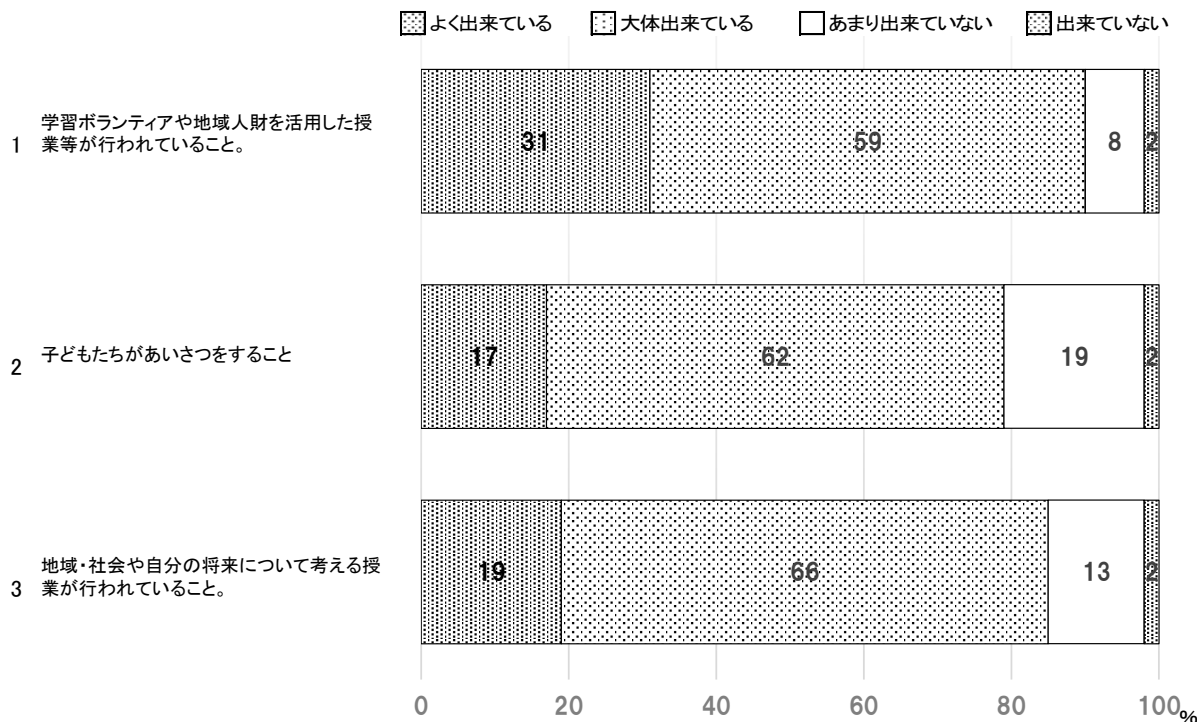


# 令和4年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

## 【三鷹中央学園】

アンケート実施日	: 令和4年10月26日～11月2日
アンケート対象者	: 三鷹中央学園(三小・七小・四中)保護者
回収率	: 885/児童・生徒数1522(58%)



### アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計  
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

#### 成果

アンケート項目は昨年度と同様の3項目です。本年度もコロナ禍による影響がありましたが、新しい生活様式に基づき、学びを止めることなく進めてきました。今年度、肯定的な回答が低かったのが、「子どもたちがあいさつをすること」でしたが、学園としてのあいさつ運動、各校独自のあいさつ運動を展開し、コロナ禍においてもあいさつの意識を児童・生徒にもたせることができたのは成果です。経年変化で見ると、令和2年度が76%、令和3年度が83%、令和4年度が79%です。今後も自発的なあいさつを促し、引き続き、家庭とも連携しながら、元気でさわやかなあいさつが飛び交う学園を目指します。

「学習ボランティアや地域人財を活用した授業が行われていること」、「地域・社会や自分の将来について考える授業が行われていること」については、昨年度と比べ全く変化がありませんでした。高い評価をいただいていると思っています。今後も、地域の人財を活用した教育活動の充実に努めていきます。

#### 課題

否定的回答の割合が最も多かった、「子どもたちがあいさつをすること」は、昨年度比で4%減となっています。あいさつは日常生活の基本であることから、各家庭でのあいさつの励行を進めるとともに、引き続き、学園と地域の連携による「あいさつ運動」の充実に努めます。各校の実態や発達段階に応じた取り組み方を工夫するとともに、家庭や地域と協力、連携しながら進めていきます。

「地域・社会や自分の将来について考える授業が行われていること」については、各教科や総合的な学習の時間等でキャリア教育に繋がる学習の充実と保護者への広報を引き続き、行っていきます。

回答率が昨年度の72%から58%に下がったことについては、回答率を上げるための改善策を探っていく必要があると考えます。